

「文と文をつなぐ言葉」2

★意味を考えてつなぎ言葉を使おう。

一・次の問いに答えましょう。

◎ぼくは、一生けんめいに漢字の勉強をした。だから、八十五点だった。

このときの気持ちに合う顔はどちら？

顔を○でかこみましょう。



◎ぼくは、一生けんめいに漢字の勉強をした。しかし、八十五点だった。

このときの気持ちに合う顔はどちら？

顔を○でかこみましょう。



つなぎ言葉は内容と内容のつながり方をはつきりさせるだけでなく、話し手や書き手の気持ちを表すことがあります。

二・次の文の【 】には、だからもしかしも入れることができます。次の場合はどちらのつなぎ言葉を入れたらよいでしょうか。だからかしかしを選び○でかこみましょう。

①徒競走で一生けんめい走った。【 】、二位だった。

走るのは
苦手。
うれしい！

だから
しかし

走るのは
苦手。
うれしい！

だから
しかし

②今日の給食はカレーライスだった。【 】、残さずに食べた。

カレーは
苦手なの

だから
しかし

カレー
大好き

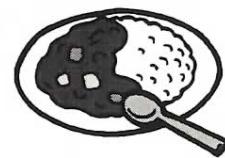
だから
しかし

三・()に当てはまるつなぎ言葉を書き込みましょう。

①明日から家族旅行で沖縄へ旅行する。()、わくわくしている。

柿がたくさん実った。()、ほんとしぶ柿で()、台風が近づいて心配だ。

柿がたくさん実った。()、今まで食べることは難しい。



組	<input type="text"/>
---	----------------------

番	<input type="text"/>
名前	<input type="text"/>

<input type="text"/>
